

ホールクロック

高感度電波時計 取扱説明書

(チャイム音報時付時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

も く じ

1. 商品について	2	10. 報時機能の設定	8
2. 安全にお使いいただくために	3	(明暗センサーのはたらき)	
3. 電池・時計の廃棄	3	11. 電波を受信できない場合	9
4. お手入れについて	3	(手動での時刻合わせ)	
5. 高感度電波時計について	4	(電波受信機能のON/OFF切り替え操作)	
(標準電波の送信停止について)		12. 電池の交換について	10
(海外でのご使用について)		■電池の種類について	
(電波を受信しにくい環境について)		■電池の寿命について	
6. 設置	5	13. 月齢表示	10
7. 振り子／重すい／棚の取り付け	5	14. こんな症状のときは	11
8. 電池を入れて時計を動かす	6	15. おもな製品仕様	11
(振り子の動かし方)		保証書	裏表紙
(静電気による誤作動について)		アフターサービスについて	
9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた	7	お問い合わせ先	
(内蔵電池による時刻のバックアップ)			

重 要

- 設置するときは、重量がありますので2人以上で行ってください。
- この時計は時刻を合わせて出荷しております。時刻合わせを押すと時刻が変わってしまいます。手動で時刻を合わせるとき以外は押さないでください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

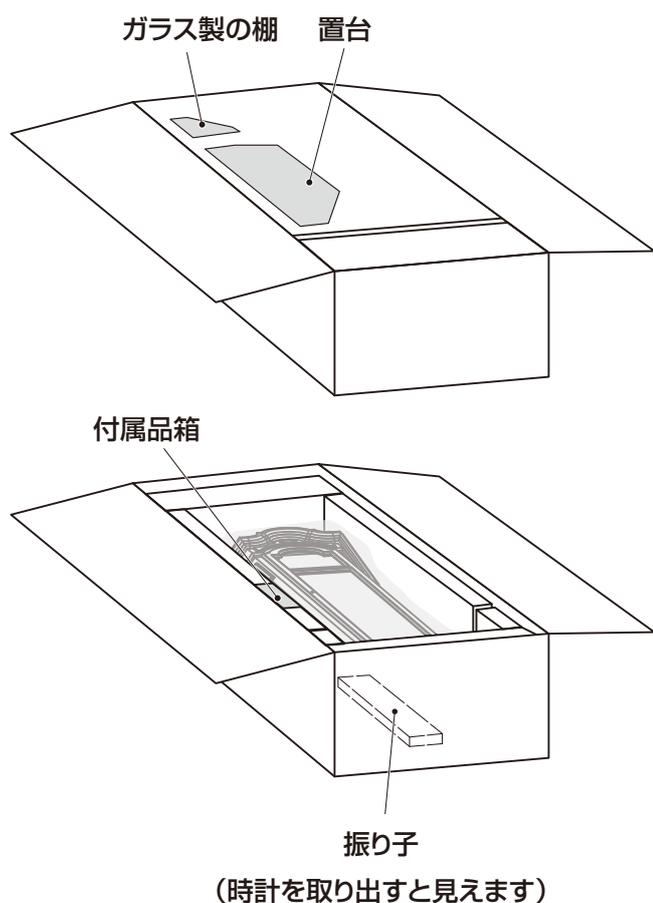
1. 商品について

⚠ 警告 側面扉と下扉の固定に磁石を使用しています。磁気式カードや医療機器など磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データの消失、誤作動、故障の原因になります。ペースメーカーなどの医療機器の場合、人命にかかわる場合があります。

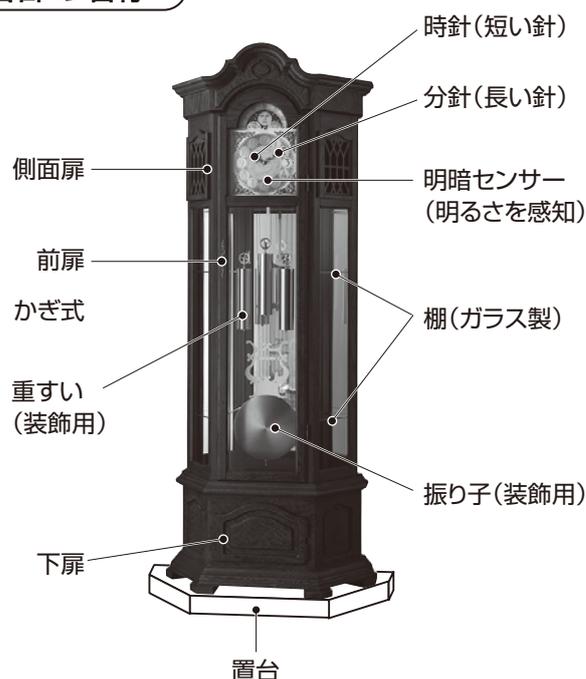
⚠ 注意

- 時針・分針には触れないでください。故障や時間違いの原因になります。
- 組み立てた状態で移動させないでください。棚が外れたり、重すいや振り子が揺れたりして本体に傷をつけたり、ガラスが破損したりするおそれがあります。

開梱について



各部の名称



外観について

- 木などの天然素材を使用しているものは、木目などが個々の商品ごとに異なることがあります。
- 経年変化により色合いや艶が変化することがあります。

付属品

お試し用電池 2個、 ガラス製の棚 4枚、 置台 1個、 振り子 1個、 重すい 3個
滑車飾り 3個、 かぎ(前扉用) 1個、 木ねじ 1個、 ヒートン 1個、 鎖 1個、
取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

2. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ㊄ は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

❗ は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

㊄ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

㊄ **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

㊄ **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

㊄ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

㊄ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

㊄ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

㊄ **シンナーやベンゼン、アルコールなどの有機溶剤または有機溶剤を含むスプレーを付けない**
溶解、変色、表面のくもりなどの原因になります。

㊄ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

㊄ **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

3. 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

4. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類を使用しないでください。

5. 高感度電波時計について

高感度電波時計とは

クオーツ時計に福島局と九州局の標準電波、AMラジオ放送*を受信する機能を搭載しています。いずれか1つを受信することにより、正確な時刻に自動修正する時計です。

*NHKラジオ第1の時報を受信します。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

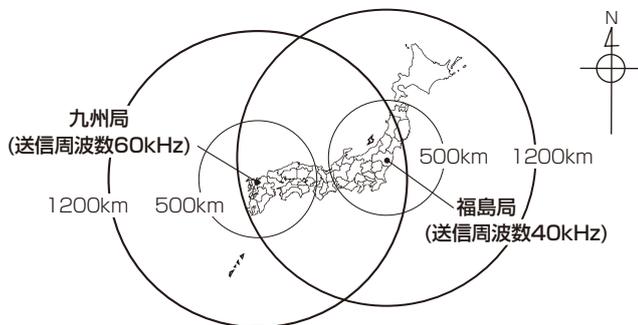
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

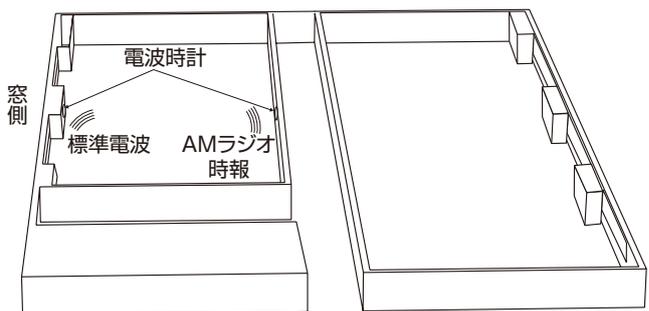
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

AMラジオ放送の特長

日本各地に放送局があり、大きな出力で送信されております。標準電波が届きにくい所でも受信することが可能です。

受信しやすいAMラジオ放送を利用することにより、標準電波が受信しにくかったオフィスやマンションなどでも時計の設置範囲が広がりました。

※お手持ちのラジオで、設置しようとしている所でNHK第1放送が明瞭に受信できることを確認してください。



電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

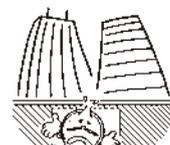
標準電波が受信しにくい所

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



AM時報電波が受信しにくい所

- 窓のないデパートのフロア
- 大規模オフィスの窓から遠く離れた所
- 地下
- 家電量販店などノイズが多い所



6. 設置

○設置場所は水平で安定した所をお選びください。

設置場所の床が毛足が長いじゅうたんや畳など不安定な所では転倒するおそれがあります。

○AMラジオ放送(NHK 第1放送)が明瞭に受信できる所をお選びください。

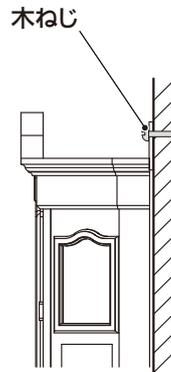
標準電波とAMラジオの両方が受信できないときはクォーツ精度となります。

⚠ 注意

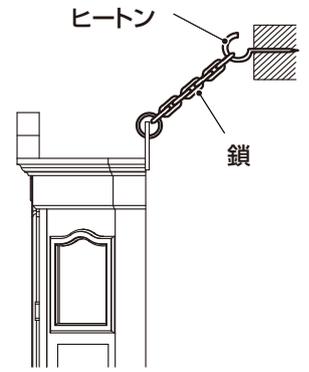
時計は垂直に設置して、地震などにより時計が転倒しないように、時計頭部の止め金具をしっかりとめてください。

○付属の木ねじおよびヒートンが使用できる壁面は木の柱または木質の厚い壁面です。それ以外の石こうボード、コンクリート、薄い化粧ベニヤなどの壁面には使用できません。このような所に設置する場合は、壁面の材質に合った市販の金具をご使用ください。

(木ねじによる固定例)



(鎖による固定例)

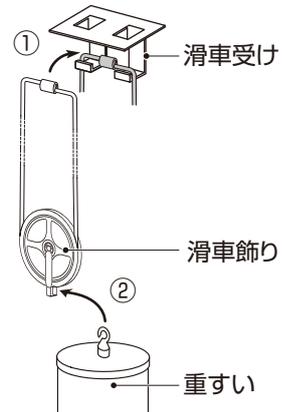


7. 振り子／重すい／棚の取り付け

※振り子と重すいは装飾用です。

1 振り子の取り付け

振り竿が時計内に厚紙と画びょうで固定されていますので、これを取り外して振り子を正しく掛けます。



2 重すいの取り付け

①図のように振り竿の手前にある3つの滑車受けに、滑車飾りを正しく掛けます。

②滑車飾りに重すいを正しく掛けます。

3 棚の取り付け

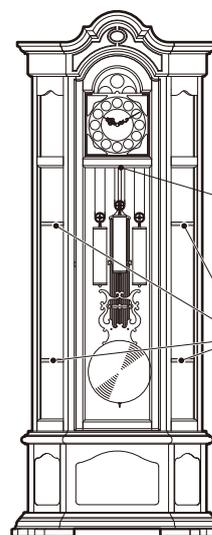
枠に溝があります。溝にガラスを挿し込んでください。

※ガラスに滑り止めのクッションが貼ってあります。はがさないでください。

※1つの棚に5kg以上のものを載せないでください。

⚠ 注意 時計の移動や向きを変えるときは、必ず付属品をすべて取り外してください。

振り子・重すいの揺れや振動による棚の落下などにより、破損や傷の原因になります。



滑車受けはこの面の内側にあります。

棚(ガラス製)

枠に溝があります。溝にガラスを挿し込んでください。

8. 電池を入れて時計を動かす

この時計は時刻を合わせて出荷しておりますので、表示用の電池を入れて**強制受信**を押すと8分以内に時刻を表示します。

※時刻を表示する前に12時、4時、8時のいずれかに一時停止します。

※通常は**時刻合わせ**を押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

※「10. 報時機能の設定」(P.8)を行ってからお使いください。

この時計は正しい時刻に合わせるために次のことを行っています。

- ①福島局または九州局からの標準電波の受信を試みます。
 - ②①が失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。
- 受信結果は、**受信表示**のランプで確認することができます。

強制受信を押して15分以上経過してから確認してください。

2秒に1回点滅:標準電波の受信に成功。

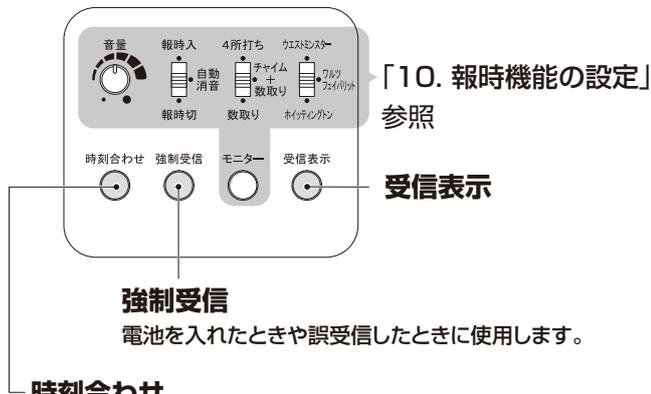
5秒に1回点滅:AMラジオ放送の受信に成功。

10秒に1回点滅:標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中
消灯:標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない。

☞「9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた」(P.7)

※標準電波またはAMラジオ放送の受信に失敗している場合は、1週間程度後に受信表示ランプで状態を確認してください。

(操作部)



注意
不用意に押すと時刻が変わります。標準電波、AMラジオ放送の受信ができないときや任意の時刻に手動で時刻を合わせるときに使います。

注意
時計と分針を手で回さないでください。時間違いや故障の原因になります。

通常の針の動き

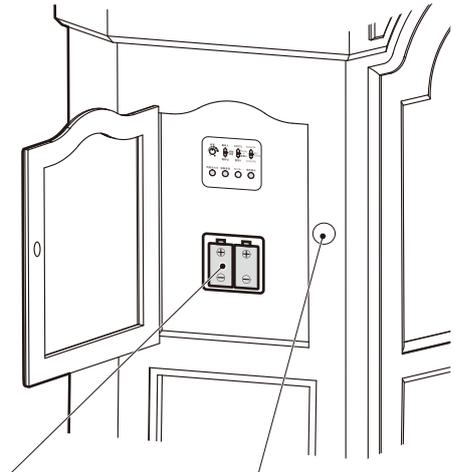
時計針・分針は10秒に1回動きます。

※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**強制受信**を押してください。

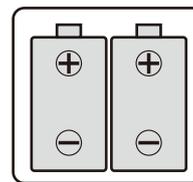
操作部と電池ホルダーは、時計正面から見て左側の扉内にあります。



表示用の電池

扉を固定する磁石

単1形アルカリ乾電池(推奨)を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて2個入れてください。

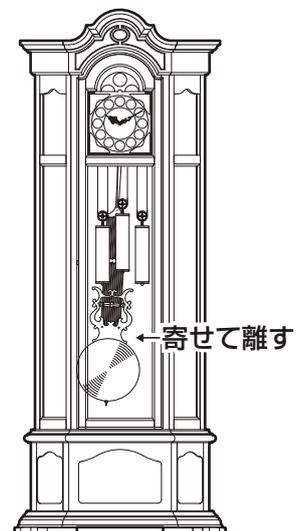


注意

電池の⊕⊖を指示と異なる向きに入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

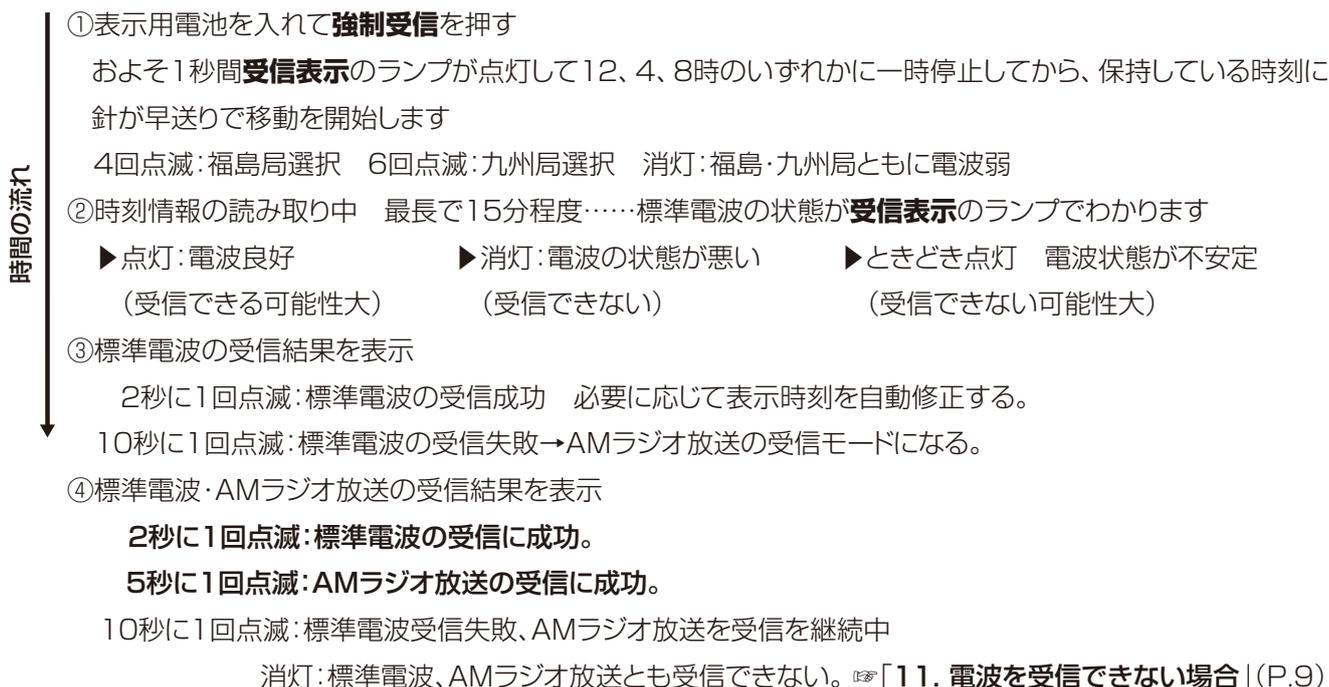
振り子の動かしかた

電池を入れても振り子が動かないときは、振り子を側面いっぱい動かして手を離してください。時間が経過すると安定した動きになります。



9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた

受信の進行状態や受信結果は受信表示のランプで確認することができます。



AMラジオ放送について

- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(プッ、プッ、プッ、ポーン)のことです。
- AMラジオ放送の受信は標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続7日間受信できないときは、AMラジオ放送の受信を停止します。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信回数は最少で1日1回、最多で1日6回です。
- 時計の時刻と正しい時刻との差が4分を超えているとAMラジオ放送の時報が受信できません。
- 標準電波の受信に成功するとAMラジオ放送の受信を停止します。**強制受信**を押すとAMラジオ放送受信停止が解除されます。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池から電力が得られなくなると、内蔵電池に切り替わります。

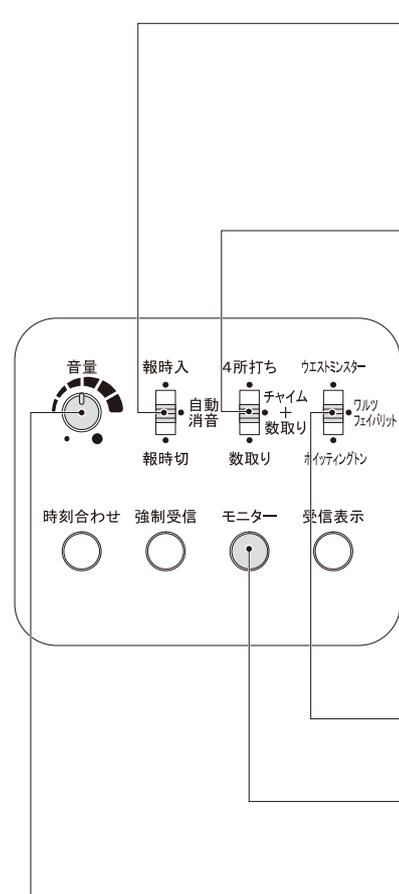
※内蔵電池のみでは針や振り子、月齢表示などの動きや報時機能が停止します。

※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池をしません。

※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

10. 報時機能の設定

報時を使用するには、①～③のスイッチを設定し、音量つまみで音の大きさを調節してください。
チャイム音の選択や音量を調節するときには、モニターボタンを使用して音を試聴しながら行ってください。



- ① **報時スイッチの設定** 報時機能のON/OFFを設定します。
- 報時入** :常に報時する。
自動消音 :明暗センサーと連動。暗くなると自動的に報時を停止する。
報時切 :報時を停止する。

- ② **報時形式スイッチの設定** 報時のしかたを選ぶことができます。
- 4所打ち** (0分、15分、30分、45分)
0分 :チャイムを1曲奏でます。
15分毎 :15、30、45分と時刻が進むに従い演奏が長くなります。

チャイム+数取り

毎正時にチャイムを1曲奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。

数取り

毎正時に時刻に対応した数の鐘が鳴ります。

◎報時する音は電子音です。

- ③ **チャイム選択スイッチ** 報時するチャイム音の種類を選択します。
- ①ウェストミンスター・チャイム
 - ②フルツフェイスバレット・チャイム
 - ③ホイッティングトン・チャイム

音量つまみ(音量の調節)

音量つまみを回して調節することができます。**モニター**を押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

- 🔄 右に回す:大きくなる
- 🔄 左に回す:小さくなる

モニター(報時音の試聴)

モニターを押すと報時形式スイッチとチャイム音スイッチに対応した報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。

例. 3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。

※「4所打ち」が選択されているときは、0分、15分、30分、45分と続けて演奏します。

※演奏中に**モニター**を押すと停止します。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーは明るさを感知します。

報時スイッチが「自動消音」に設定されているときに、明暗センサーが暗いと判別したときは報時を停止し、**受信表示**のランプも消灯します。

昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足するとセンサーが反応します。

11. 電波を受信できない場合

標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない

設置した所で、NHKラジオ第1をAMラジオ受信機が明瞭に受信できるかを確認してください。

■明瞭に受信できる場合

手動で正しい時刻に合わせてから**強制受信**を押して1週間程度後に受信結果を確認してください。

※AMラジオ放送は、時計の時刻が正しい時刻に対して4分以上の遅れまたは進みがあると受信できません。

■明瞭に受信できない場合

○AMラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、**強制受信**を押してください。

○AMラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときは、手動で時刻を合わせてお使いください。

この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……………受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※**時刻合わせ**を押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

※電波が受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

操作 ○**時刻合わせ**を押してすぐに離すと1分進みます。

○**時刻合わせ**を押し続けると早送りします。

秒は、**時刻合わせ**を離れたときにゼロ秒に設定されます。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように**強制受信ボタン**を4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



※電波受信機能がOFFのときに**強制受信ボタン**を押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。

時刻合わせボタンを押したまま、**強制受信ボタン**を押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず**強制受信ボタン**を押して受信を開始させてください。



12. 電池の交換について

電池の交換時期になると電波の受信機能と報時機能が停止します。

⚠ 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※報時機能を使用しないと電池寿命が長くなりますが、長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。



■ 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

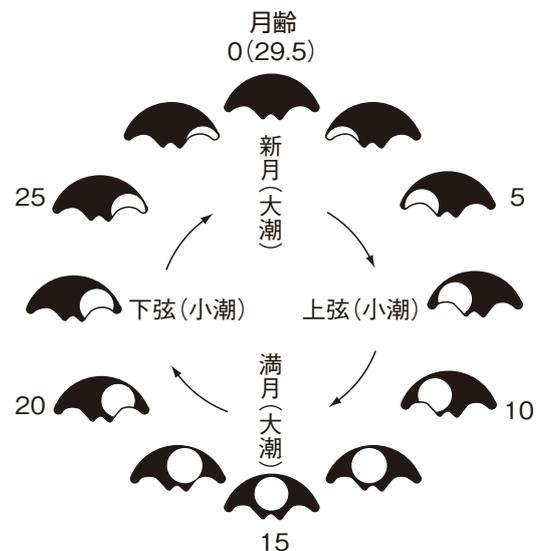
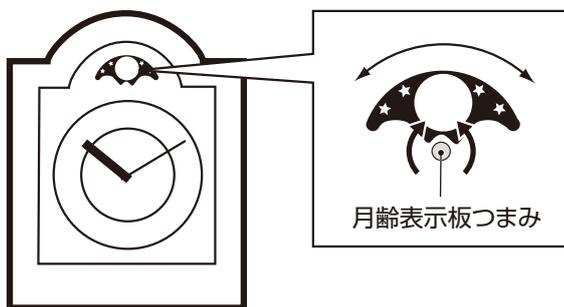
■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

13. 月齢表示

月齢表示板つまみを回して月齢を合わせます。

- 月齢表示により、月の満ち欠けと潮の満ち干の関係がわかります。
- 月齢は新聞の「あすの暦」などをご覧ください。
- 時計と月齢表示は連動しません。
- 機構上の進み遅れや電池切れにより、月齢を修正していただくことがあります。



14. こんな症状のときは

症状	処置
十分に明るいのに報時をしない	① 報時スイッチ が「報時切」になっていないか確認してください。 「報時入」または「自動消音」に切り替えてください。 ②上記で 報時スイッチ が「報時入」または「自動消音」のときは、電池の交換時期になっています。電池の交換が必要になると報時を行いません。 新しい電池にすべて交換してください。
強制受信を押しても受信を開始しない	①電波受信機能がOFFになっている可能性があります。 電波受信機能のON/OFF切り替え操作 (P.9)を参照してください。 ②針が動いていても、電池の交換が必要になると電波の受信を行いません。 新しい電池にすべて交換してください。

15. おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 時分針 目盛りに対して±3度 電波を受信しない場合 平均月差±20秒 温度が5～35℃のときのクォーツ精度
推奨電池	表示用 単1形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 2個 内蔵 コイン形リチウム電池 CR2032 1個
電池寿命	表示用 約1年 内蔵 約5年 工場出荷時より *通常の使いかたでは交換の必要はありません。
標準電波受信機能	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局40kHz/九州局60kHz 自動選択
自動受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日
自動受信時刻	2,3,4,12,13,14時 各時間帯の16分20秒
AMラジオ時報受信機能	標準電波が受信できないときに受信して時刻を修正
受信周波数帯	約518～1615kHz
自動受信時刻	0時,1時,2時,5時,6時,23時 各時刻の4分前から受信開始
手動時刻合わせ	ボタン操作にて可能
報時機能	設定された条件により電子音でお知らせ
報時切替	常時ON/OFF/暗所自動停止 いずれか1つを選択方式
報時形式	4所打ち(15分間隔)/チャイム+数取り/数取り いずれか1つを選択方式
報時音	3種類からの選択方式
音量調節	ロータリー式ボリューム
振り子/重すい	装飾用 *時間精度には影響を与えません

※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱してありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名

住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8. 電池の交換

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、本体裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4RN○○○